

～グローバル時代のおつきあい～

今、日本人は世界中にでて、さまざまな分野で活躍しています。一方、わが国には、多
2020年には東京オリンピック・パラリンピックを控えています。私たちはどのように

くの外国人が暮らしています。また 2017 年には過去最多の外国人が訪日しました。
接したら良いか、考えてみたいと思います。

《まず知っておこう》

外国人登録者数6,701人(H30年6月小山市調べ)
市町村別外国人の数 1位宇都宮市 2位小山市
〃 人口比率 1位真岡市 2位小山市
(H30年1月 栃木県調べ)
小山市ではブラジル、ペルー、フィリピン、ネパールの順に多く、67カ
国の人が住んでいて、年々増加しています。

《ブラジル移民から110年》

神戸港から笠戸丸でサンパウロへ。幾多の苦難を乗り越え190万
人が働いています。
1980年代中期より日系ブラジル人やペルー人
が日本へ働きに来るようにもなりました。



《小山市の友好都市など》

- 本溪市(中国 遼寧省)H6.10.28 友好交流都市
- ケアンズ市(オーストラリア)H18.5.15 姉妹都市
- 紹興市(中国 浙江省)H21.10.22 友好交流関係都市
- 国際交流協会(交流事業、日本語教室、外国語講座など)

《グローバル対応教育》

- | | |
|-------------------|------------|
| 子どもたちへの取組み | その他 |
| ○英語ALT(外国語指導助手) | ○海外留学制度 |
| 市内28校で30人が活躍 | ○交換留学生など |
| 多くの国の方々が学習をサポート | |
| ○日本語教室 | ○プレスクール |



《2016年日本で働く 外国人が100万人を突破》

今や外国人の労働力は、欠くことができません。

《言葉の壁をどうする》

日本語	英語	フランス語	スペイン語	ポルトガル語	中国語	韓国語
こんにちは	ハロー	ボンジュール	ブエナス タルデス	ボア タルデ	ニイハオ	アンニョン ハセヨ
ありがとう	サンキュー	メルシー	グラシアス	オブリガード(男性) オブリガータ(女性)	シェシェ	カムサ ハムニダ

海外に行くときには、あらかじめ訪問国の文化、風習そして言葉など
少しでも学んでおけば楽しく過ごせるようです。

日本で外国人に話しかけられた場合、とりあえず、英語で知っている
単語とジェスチャーやボディランゲージでしめす方法もあります。ま
ずは臆せず話してみましょう。

《こんな地域もあります》

「※多文化共生」ということで、ボランティアの方が会話のサポート
をしたり、外国語の広報紙を毎月発行しているところがあるそうです。

また、アートの島で有名な香川県直島は、外国人観光客が多いた
め、ほとんどの島民がカタコト英語で案内ができるとのこと。

※国籍や民族などの異なる人々が、文化的な違いを認め合い、対等
な関係を築こうとしながら、共に生きていくこと。

《ダイバーシティ(多様性)を尊重する》

人種、民族、風習、宗教、性別、年齢(若者と高齢者)、障がい者と健常
者、考え方や意識などを受け止め、認め合うことが大切です。

《マナー》

地域にも、独自のマナーやエチケットがあります。
それらを教えてあげるのも、コミュニケーションの一
つになります。



“相手を知り、尊重する。” 世界にはいろいろな人たちがいて、
さまざまな違いがあります。それを認めあいながら、フレンド

社会が成り立っています。言語、宗教、生活様式、風習など、
ドリーで対等なおつきあいをしたいものですね。